

2025年9月期

決算説明資料

[決算説明動画はこちら](#)

2025年11月

株式会社CSSホールディングス

目次

2025年9月期売上状況	p.2
セグメント毎の売上高・営業利益推移	p.3
連結財務指標の推移	p.4
第4四半期トピックス	p.5-9
連結人材指標の推移	p.10

3セグメント共に増収、フードサービス事業が売上比率を高める

スチュワード事業

セントラルサービスシステム

ホテル・レストラン・テーマパーク・病院などにおける、

- 食器洗浄管理
- 厨房清掃管理
- 客室清掃

9,374
百万円
48.0%

フードサービス事業

センダン

ホテル、一般企業、学生寮、高齢者施設などにおける、

- 食堂の運営
- 朝食等レストランの運営

空間プロデュース事業

東洋メディアリンクス

金融機関、商業施設、一般企業などにおける

- 防犯カメラ、AV機器等の販売・施工・保守
- BGM・香り・グリーンのサブスク

音響特機

スポーツ・イベント会場、テーマパーク、一般企業、カンファレンス施設、商業施設などにおける

- 音響機器の卸販売
- 会議システムやオーディオシステムの卸販売

Mood Media Japan

ホテル、商業施設、飲食店などにおける

- BGM・映像によるブランディング支援

5,542
百万円
28.4%

4,598百万円
23.6%

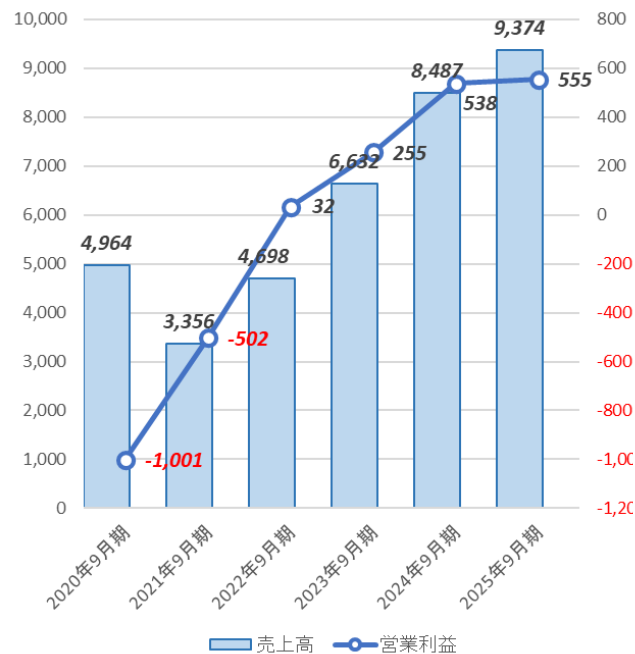
連結売上高
19,499百万円
(2025年9月期)

※連結売上高は、連結会社相互間の内部売上高を除いております
※連結売上高は、その他・調整売上△15百万年を含んでいます

中計初年度方針「人材育成の強化」「ESG課題の取組推進」のもと
人材への投資を積極的に行い、成長加速の基盤強化へ

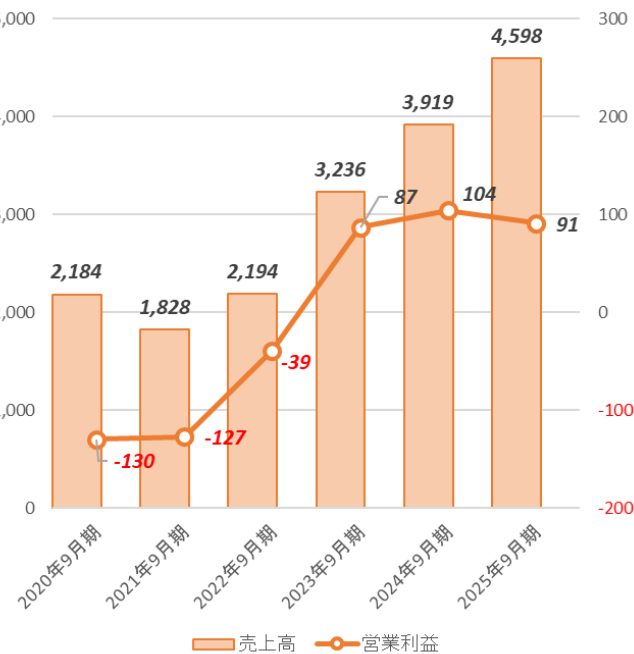
スチュワード事業

(単位：百万円)



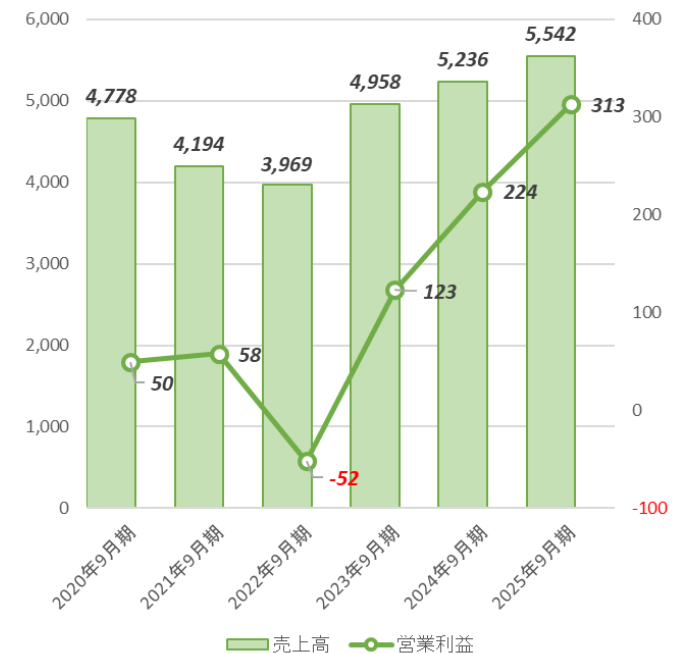
フードサービス事業

(単位：百万円)



空間プロデュース事業

(単位：百万円)



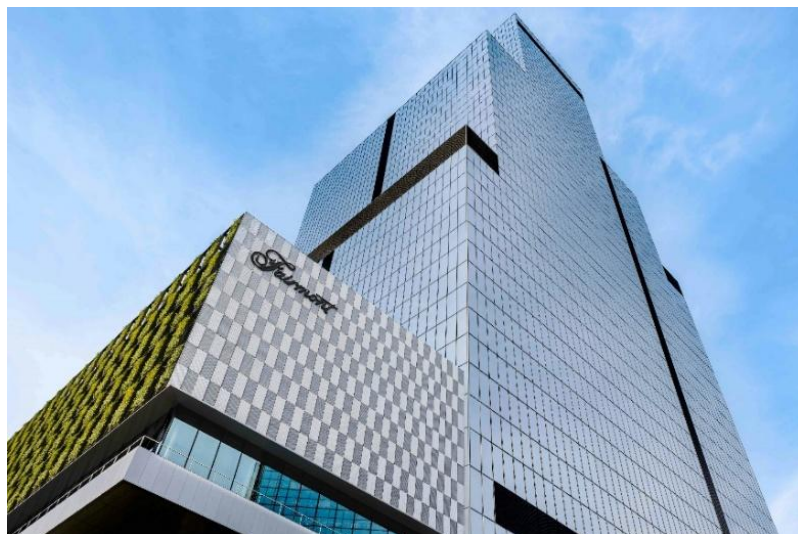
連結財務指標の推移

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高に

(百万円)

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	対前年差異
PL	売上高	14,832	17,631	19,499 +1,868 (+10.6%)
	営業利益	276	595	717 +121 (+20.4%)
	経常利益	313	630	742 +112 (+17.8%)
	当期純利益	230	429	587 +158 (+36.8%)
BS	現預金	807	906	1,138 +232 (+25.6%)
	有利子負債	750	450	300 ▲150 (-33.3%)
	純資産	2,346	2,674	3,089 +414 (+15.5%)
	総資産	5,700	5,931	6,317 +386 (+6.5%)
CF	営業CF	471	605	632 +27
	投資CF	▲35	▲53	▲58 ▲4
	FCF	435	551	574 +23
	財務CF	▲373	▲420	▲343 +77
	ROE 自己資本利益率	10.2%	17.1%	20.4% + 3.3pt
	EPS 一株当たり当期純利益	46.08円	85.90円	117.37円 + 31.47円

スチュワード事業、フードサービス事業で開業続く



欧州最大手のホテルグループ・アコーによるラグジュアリーブランド「フェアモント」の日本初進出、フェアモント東京の開業をはじめとして、セントラルサービスシステムはこの一年で15件の新規開業をしました。大型ホテルのみならず、超高級介護付き有料老人ホーム、完全会員制リゾートホテル、テーマパーク内レストラン、大型フードコート、総合病院、神社内結婚式場など多様なホスピタリティを支えました。



2025年11月、センダンはコンフォートイン 那覇泊港を受注開業いたしました。同年1月にはコンフォート ERA伊勢、2月に同・東京東神田を開業し、コンフォートブランド4件目の受注となりました。41期通期においては、従業員食堂、ホテル内朝食レストラン、高齢者施設給食運営を合わせて17件の新規事業所を開業、センダンが運営する従業員食堂や朝食レストランがYouTubeやテレビで紹介されるなど注目を集めた一年でした。

能力開発、生産性追求による従業員エンゲージメント強化



セントラルサービスシステムでは、SaaSツールの活用により、日常業務のデジタル化と情報共有の効率化を実現。また、労務関係業務プロセスの再構築、利益管理システムの整備により、収益状況の可視化と迅速な経営判断を可能としました。また、電子契約の導入によって契約手続きのスピード化とペーパーレス化を推進。人材育成面では、衛生管理資格などの取得推進や制度構築、その他社内資格をオンラインで受験可能とし、現場からも柔軟に研修、受講・受験ができる環境を整備しました。



センダンでは、従業員のエンゲージメント向上とサービス品質の維持・向上を目的に、新卒、中途社員向け衛生教育および調理実習を定期的実施しています。食の安全・安心は事業の根幹であり、その実現は、従業員一人ひとりの高い衛生意識の維持と、それを実践に結びつける最新の知識およびスキルを身につけることが重要です。これらの取り組みを通じて、従業員の専門性とモチベーションを高め、顧客満足度の向上と共に事業価値の持続的な向上につなげています。

映像とアート演出を融合させた「メディアアート落語」をプロデュース



東洋メディアリンクスは、落語家・林家なな子と共に、落語とプロジェクション技術を融合させた、新たなエンターテインメント体験「メディアアート落語」をプロデュースいたしました。本企画は、伝統芸能に関わる表現者たちの活躍の場を拡げ、その文化的価値を次世代へと橋渡しする取り組み貢献を含めて実現したものです。

注目すべきは、LEDドレスなどで話題となったファッションテックの潮流を落語という伝統芸能に取り込んだ「動く着物」「変化する衣装」の試みです。物語の展開とともに花が咲き乱れ、幾何学模様が煌めき、色彩と構図がドラマチックに変化する衣装は、それ自体がストーリーの一部として観客に強烈な印象を与えました。

本社ビルに『Cambridge サウンドマスキングシステム』体感スペースを設置



サウンドマスキングシステムとは特別にチューニングされた音（＝マスキング音）により、人の話し声を聞き取りにくくする技術です。オフィスの執務エリアや会議室間の通路、医療施設など、会話のプライバシーや騒音の低減が重視される環境に最適なシステムです。当社本社ビルにおいては事業会社が入居する計4フロアに加えて、2階の応接フロアに『Cambridge サウンドマスキングシステム』を設置し、来客者に体感いただけるスペースとしてリニューアルいたしました。

また、日本有数の化学メーカーである日本精化株式会社様大阪本社のオフィスエリアに導入いただき、会議室入口付近や壁際といった、これまで気になっていたポイントでのマスキング効果にご好評をいただいています。



多様なチャネルを活用した積極的IR活動



投資家説明会では会場参加のみならず、Webによるライブ配信を組み合わせたハイブリッド開催に加え、投資専門YouTubeチャンネルや投資家ラジオ番組への出演、さらに資産運用EXPOへの参加を通じて、投資家の皆さまとの対話機会を拡充しました。多様なチャネルを活用し、当社の事業内容や成長戦略をより幅広い層に発信しています。これらを通じて、既存投資家との関係深化に加え、新たな投資家層へのリーチを拡大しています。

連結人材指標の推移

連結従業員数
():うちパート・アルバイト



(名)

'23年 9末	'24年 9末	'25年 9末
5,768 (5,223)	6,690 (6,106)	7,448 (6,820)

女性管理職比率



(%)

'23年 9末	'24年 9末	'25年 9末
20.4	18.3	14.4

シニア従業員雇用率
※65歳以上



(%)

'23年 9末	'24年 9末	'25年 9末
19.7	18.9	18.0

パート・アルバイト
永年勤続表彰者数
※10年・20年勤務者合計



(名)

'23年 9末	'24年 9末	'25年 9末
127	152	237

有給休暇平均取得日数



(日)

'23年 9末	'24年 9末	'25年 9末
7.4	6.0	9.0

産・育休取得率
※女性社員



(%)

'23年 9末	'24年 9末	'25年 9末
100	100	100

産・育休復帰率
※出産女性社員



(人)

'23年 9末	'24年 9末	'25年 9末
1/11 (9%)	5/10 (50%)	3/8 (38%)

外国人従業員国籍数
※過去10年実績



(ヶ国)

'23年 9末	'24年 9末	'25年 9末
77	82	81

免責事項

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



CSSグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

お問い合わせ

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail hld-info@css-ltd.co.jp